

平成27年 9月 9日
東北地方整備局

入札監視委員会の審議概要について (総会・第一部会第1回定例会議)

東北地方整備局入札監視委員会の平成27年度総会及び第一部会第1回定例会議が、平成27年7月31日(金)に仙台市の東北地方整備局で開催されましたので、その審議概要(別紙)についてお知らせします。

なお、第一部会第1回定例会議では、委員会が抽出した案件9件の審議が行われ、意見の具申又は勧告事項はありませんでした。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局

(第一部会) 仙台市青葉区二日町9番15号

主任監査官

入札契約監査官

契約管理官

技術開発調整官

TEL (022) 225-2171 (代表)

佐藤 一 男 (内線 2114)

岩村 毅 (内線 2220)

黒沢 勇 (内線 2222)

横山 喜代太 (内線 3120)

(第二部会) 仙台市青葉区花京院1丁目1番20号

契約管理官

経理調達課課長補佐

TEL (022) 716-0013 (ダイヤル)

宇野沢 衛 (内線 6221)

佐藤 浩 正 (内線 6554)

東北地方整備局 入札監視委員会 総会 審議概要

開催日及び場所	平成27年7月31日(金) 東北地方整備局 大会議室
委員	別紙-1 「委員名簿」のとおり
審議概要	<ul style="list-style-type: none">○ 総会においては、別紙名簿のとおり、委員長及び委員長代理の選任と各委員の部会所属を決定した。○ その他(報告事項)<ul style="list-style-type: none">(1) 平成27年度東北地方整備局の事業概要

別紙－1

平成27年度 東北地方整備局入札監視委員会 委員名簿

氏 名	職 業	役職・所属部会
いづみ だ しいげ しみ 美 泉 田 成 美	(国)東北大学 大学院 経済学研究科 教授	第一部会
い とう みつ ひこ 伊 東 満 彦	(学)東北学院大学 法科大学院 教授	委員長 第一部会
し お よう こ 牛 尾 陽 子	(公財)東北活性化研究センター フェロー	第一部会
これ かわ はる ひこ 是 川 晴 彦	(国)山形大学 人文学部 教授	第二部会
さい とう こう じ 齊 藤 幸 治	弁護士	委員長代理 第二部会
たか はし し ひこ 高 橋 敏 彦	(学)東北工業大学 工学部 教授	第二部会
ひさ だ まこと 久 田 真	(国)東北大学 大学院 工学研究科 教授	第一部会

(五十音順:敬称略)

※東北地方整備局入札監視委員会について

- 東北地方整備局入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき設置されている第三者機関であり、次に掲げる事務を行います。
 - ① 当整備局が発注した工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等に関し、入札・契約手続の運用状況等について報告を受ける。
 - ② 委員会が抽出した案件に関し、その内容の審議を行い、意見の具申又は勧告を行う。
 - ③ 入札・契約手続及び指名停止等に係る再苦情処理を行う。
- 委員会には、2つの部会が設置されており、第一部会は港湾空港関係事務を除く事項を、第二部会は港湾空港関係事務に係る事項を取り扱います。

東北地方整備局 入札監視委員会（第一部会） 審議概要

開催日及び場所	平成27年7月31日（金） 東北地方整備局 大会議室		
委員	部会長 伊東 満彦【(学)東北学院大学 法科大学院 教授】 部会長代理 久田 真【(国)東北大学大学院 工学研究科 教授】 委員 牛尾 陽子【(公財)東北活性化研究センター フェロー】 委員 泉田 成美【(国)東北大学大学院 経済学研究科 教授】 【欠席】		
審議対象期間	平成27年 1月 1日 ～ 平成27年 3月31日		
審議案件	総件数	9件	(別紙-1 審議案件一覧のとおり)
工事	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象）	1件	(備考) (1) 工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等及び物品の製造等の発注状況 (2) 指名停止等の運用状況 (3) 談合情報等の対応状況 (4) 再度入札における一位不動状況 (5) 低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況について報告を行った。
	一般競争入札（政府調達に関する協定適用対象以外）	4件	
	工事希望型競争入札	0件	
	指名競争入札	0件	
	事 随意契約	1件	
	建設コンサルタント業務等	2件	
役務の提供等及び物品製造等	1件		
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	別紙-2のとおり		
委員会による意見の具申又は勧告の内容	別紙-3のとおり		

審議案件一覧

【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事)	旧北上川石井水門設置工事	一般土木工事	1	1	H27.3.10	(株)新井組	864,000	97.1	北上川下流

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	津軽ダム2号水質保全施設 右岸天端工事	一般土木工事	1	1	H27.1.19	高樋建設(株)	268,920	99.9	津軽ダム
一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	大沢高架橋上部工工事	鋼橋上部工事	17	16	H27.3.4	瀧上工業(株)	460,080	99.0	南三陸
一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	象潟金浦道路遠方監視設備 改良工事	通信設備工事	1	1	H27.3.6	扶桑電通(株)	29,700	100.0	秋田
一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)	川井地区舗装工事	アスファルト舗装工事	4	1	H27.3.26	(株)後藤組	118,800	99.7	山形

入札方式	工事名	工事種別			契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
随意契約方式	天王山地区道路改良工事	一般土木工事			H27.3.17	飛鳥建設(株)	183,600	99.1	仙台

【建設コンサルタント業務等】

入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
簡易公募型競争入札方式	成瀬ダム仁郷地区堤体材料 試験業務	土木関係建設 コンサルタント	1	1	H27.3.16	日本工営(株)	54,216	99.4	成瀬ダム

入札方式	業務名	業種区分	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
公募型及び簡易公募型以外の指名競争入札方式	八戸地方合同庁舎外建築積算業務	建築関係建設 コンサルタント	19	8	H27.1.22	(株)金丸建築事務所	1,188	98.2	営繕部

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
一般競争入札方式	河川維持管理DB Ver2イン ストール作業	役務の提供等	2	2	H27.1.27	(株)エクスネット	1,220	45.4	河川部

別紙-2

1. 報告	
意見・質問	説明・回答
<p>・過去の入札に関して封書で談合情報が寄せられているが、仮に、情報提供者の住所氏名がわかる場合、情報提供者からも事情聴取するのか。</p>	<p>・投書の内容について、入札参加業者にヒアリングしており、情報提供者についても、特定できるのであれば事情を伺う。 今回は特定できなかったので事情聴取はしていない。</p>

2. 審議	
意見・質問	説明・回答
1 旧北上川石井水門設置工事	
<p>・本工事は技術提案型総合評価落札方式。 受注者の技術提案点は60点満点中42点であるが、指定テーマの「本工事における躯体コンクリートの品質確保に関する施工上配慮すべき事項」について、発注者としては満足のか。いくつか提案であったということか。</p> <p>・本件は、工事金額も比較的大きく、何故1者入札なのか疑問。 対象期間でWTO対象案件は23件あるが、入札参加者が1者というのはこの1件だけで、他はおおむね2桁の入札参加者があった。何か原因があればお聞かせ願いたい。</p>	<p>・受注者からの技術提案は、本工事における現地特性、構造特性を踏まえた問題、課題をあげ、これに対する施工方法の提案があり、この点数となったもの。</p> <p>・類似する水門工事のH26年度の応札状況はおおむね1～2者程度。 石井水門は非常に大きな水門で、コンクリート打設とともに型枠が多く、施工箇所はすぐ裏に石井閘門があり、市街地での施工となる一般土木工事である。さらに、杭打ち、躯体、鉄筋、型枠と、専門業者が入っているほか、別途工事を出しており土木と機械が接合してゲートを設置するときには、工程の調整が必要となる。</p>
2 津軽ダム2号水質保全施設右岸天端工事	
<p>・競争参加資格要件で、コンクリート量100m3以上の施工実績を求めている一方で、総合評価基準の加算点をみると、河川内施工でコンクリート100m3以上の施工実績があればより同種性が高い工事としている。 この工事は非常に厳密な施工管理が必要であるということであるが、河川内施工の経験がない業者でも応札可能な工事か。今回1者入札となってしまったが、仮に河川内施工の経験がない業者1者のみの参加で加算点が低くとも大丈夫ということか。</p>	<p>・当該工事箇所はダム湖に流入する河川内であり、コンクリート打設時に汚水の河川流入防止や出水時の安全対策が求められるので、そういう観点から河川内施工を、より同種性が高い工事としている。 なお、河川内施工の経験がない業者でも基本的には施工可能である。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・ちなみに、今回受注業者は河川内施工の実績がある業者か。 ・競争参加資格要件のなかで、青森県内に本社があり、かつ、津軽地方生活圏に本社、支店又は営業所ということが要件となっているが、こういう地域要件を加えた理由は。 ・必ずしも青森県内に本社かつ津軽地方生活圏に本社、支店又は営業所と、地域要件を縛らなくても、もっと広く設定すれば、1者参加ということもなく競争性もあったのではないか。 ・地域要件を広げてもなかなか参加者はいなかったということか。 ・運用上33者があればそれで競争性が確保されているという一方で、果たしてこの競争参加資格条件の「河川内施工の実績」がない企業がこのような工事に手を上げるという可能性がどの位あったのかということが気になる。今後このような事例があったら、実質的に競争参加資格者に対応可能になっているかどうかということとは説明して頂きたい。 ・津軽ダムの場所を見ると秋田県と青森県の県境に近い。秋田県側からは入られないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実績がある業者である。 ・十分な競争性が確保できるものについては、地元企業の育成等の観点から、より地域性を重視した地域要件としている。 ・この地域要件でも33者は参加可能であった。施工はそんなに難度が高いものではないが、工事箇所が山間部でありさらに奥地での工事であることから参加者が少なかったと推察される。 ・この地域要件で33者が参加可能であったが、結果的に1者だったということである。 ・条件を緩和して競争性を高める、範囲を広げていく等、様々な工事毎の特性にあわせて範囲を決めている。条件の設定が妥当なのかということについて、今後、検討すべき必要があるものについては検討していく。 ・秋田県側からは入られない。弘前市からでなければ入られない。
<h3>3 大沢高架橋上部工工事</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> ・入札金額が調査基準価格を下回っているということで、技術提案点の高い企業が無効となっている。入札金額が安く技術力がある業者が受注できる仕組みがあればと思うが、調査基準価格のあり方について、何か問題があるような気がするが、見直すことはできないか。 ・今回の無効というのはただ単に値段が安いということではなく、工事費内訳書の提出がなかったということか。 ・今回落札した業者は、入札金額としては高かったが加算点が高かった。その一方で入札金額が一番安かったA社は加算点が低く、技術提案点も低かった。 技術提案の「維持管理低減及び耐久性向上を図る上で配慮すべき事項」について、落札業者とA社を比較すると、技術提案的に、落札業者は維持管理費をどのくらい低減でき、 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査基準価格を下回った場合は、詳細な工事費内訳書等を提出してもらうが、その提出がないので、我々としてもその内容が妥当か判断ができない。安ければいいということではなく、きちんと説明が必要なので、このような対応しかないということである。 ・そのとおり。 ・厳密に金額では算出できないが、落札した業者については、どれだけ耐久性の高いものにするか、維持管理費が安くなるかという視点での技術提案が優れていたということである。 具体的な維持管理費が何年後にどれ位低減できるということの算出は非常に難しいが、提案されている内容は非常に有効だということの評価した。

<p>耐久性という点でどのくらい耐久性向上を図れるのか説明願いたい。</p>	
<p>4 象潟金浦道路遠方監視設備改良工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・今後、延伸に伴ってさらに改良の予定がありやむを得ない部分もある一方で、全線供用にあわせて一括発注した方が安くならないか。 ・大枠な契約を最初に結んでおいて、あとは延伸のたびの作業ごとにくらという方がお互いにとっても予測可能性があつていいのではないかと思うがそういう契約は難しいのか。 ・道路の延伸により既存の設備を改良していく場合、どうしても当初受注業者以外の業者が参加を見送り必然的に競争性がなくなってしまうと思われるが、なかなか有効的な解決策はないということか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・延伸に伴う供用時期は複数年にわたるが、供用した道路については維持管理が必要であり供用の都度更新する必要があるということである。 ・国の会計制度は単年度が原則であり、そのような契約は難しい。 ・適正な競争性確保の観点から、一定の資格があれば誰でも参加できる一般競争入札としている。設備改良、工事規模が小さいこと等が参加者数に反映されたのではないか。なかなか有効な手段が見つからない。
<p>5 川井地区舗装工事</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・下請契約一覧表をみると、契約金額の6割以上が、B社に一次下請に出されており、いわゆる丸投げかどうか気になる。業務分担がどうなっているのか説明願いたい。 実質的に丸投げではないということをきちんと調査して把握していただきたい。 ・評価点及び加算点の内訳で、施工体制評価点が満点になっているが、相当な内容になっているのか。 ・東北中央自動車道9Kmのなかで、川井地区舗装工事の延長は815mとなっているが、この9Kmの区間では他にいくつに分けて入札に出したのか。他の工事区間でも同じように1者応札になっているのか、それとも相当数の入札参加があつたのか。 ・815mと区切って出すのは、長さとしては一般的には短いのか、普通なのか、長いのか。 ・こういう単純な舗装工事でも、1者入札となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・B社はプラントからアスファルト等の原材料を持ってきて材料の調整等を行っていて、元請業者が、施工管理等を行っている。 ・調査基準価格を下回っていなければ、品質確保の実効性、施工体制確保の確実性があるということで満点が付与されることとなる。 ・全9Kmの区間で、舗装工事の施工可能な区間が815mであり、今回補正予算で発注したところである。 今後改良工事の進捗に応じて舗装工事を発注することになる。 ・特に短いということはない。 ・この時期、他の工事も多く発注していることもあり、技術者が不足していたと考えられる。業者の様々な判断がありこのような結果になったと推察される。

6 天王山地区道路改良工事	
<ul style="list-style-type: none"> ・町の工事と一体施工であり技術提案を求めているが、カルバート自体のコンクリートの品質確保とか工夫の盛り込みどころ等があると思うが。何十年後かにまた修繕ということが出てくる。 ・隣接する工事と一体施工が必要なため、隣接工事の請負業者と随意契約をしたと理解はしたが、一体施工が必要だという工事について、そもそも一体で競争入札をするということが出来ないのか。何故、町の工事に随意契約をしなければならなかったのか。また、将来一体施工になるということが確実に分かっている場合、それを一体で競争入札に付すということが考えられないのか、説明願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・このカルバートは現場打ちではなく工場製作でやる。ご指摘のあったことについては、工事の具体的な施工計画のなかで確認していく。 ・国道45号については、都市整備と一体的に行うが、津波で壊滅的な被害を受けた場所なので、街づくりをどのようにするのかによって国道45号との形状が決まってくるので、どうしても町のほうが先行している。そのため、当方の設計、計画は後から実施することになるので、一体として入札に付すことは、現実的には難しい。
7 成瀬ダム仁郷地区堤体材料試験業務	
質問なし	
8 八戸地方合同庁舎外建築積算業務	
<ul style="list-style-type: none"> ・建築積算業務というのは、職員がやらないのか。外注とかあるものなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新築や増築のような設計と一体として発注しているような場合もあるし、改修のような標準的な場合は積算業務として外注することで対応している。
9 河川維持管理DB Ver2 インストール作業	
<ul style="list-style-type: none"> ・業務の概要をみると設定、調整等行ったということなので、インストールというよりはセットアップ作業と思うが。 ・データベースのバージョンアップ作業なので、ほとんど人件費と思うが、これだけ低い落札率45.4%となると、働いている人の人件費はどうなっているのか。 ・落札率が低くて契約金額が安いと良いことだと思いがちではあるが、その一方、あまりに単価が安いと果たしてきちんとした労働環境で働いているかどうか一方では気になるところで、最低賃金等、労働上の制約をきちんと満たしているのか、契約金額が低く落札率が低いものに関しては確認していただきたい。 ・作業については何人工、何時間かけているということが想定されるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インストール後、動作確認等も行っており実質的なセットアップ作業であり、件名について今後留意したい。 ・そこまでは確認はしていない。 ・予定価格が1千万円以上の役務については、低入札価格調査制度ということで調査基準価格を設定している。本件は調査基準価格を設定していない。 ・概ね現地作業で1ヶ月ぐらい。

3. 委員会による意見の具申又は勧告内容

本日の審議案件について、意見の具申又は勧告事項はない。

ただし、今後の入札契約手続きにおいて意見要望がある。

- ・ 契約金額に対して、下請金額の割合が比較的高い工事があった。
丸投げや一括下請が生じていないかの懸念があるので、慎重に工事の実施状況等を精査していく必要がある。
- ・ 役務の提供の入札で、調査基準価格がないものについて内訳書の提出が行われていない。
落札率が5割を下回るようなものだと、労働福祉上の問題が発生し、きわめて安い人件費で働かせているのではないかという懸念も生じるので、金額の多寡に関わらず、低入札のものに対しては内訳書の点検等の目配りを願います。

【当局からのコメント】

要望については、今後の入札・契約業務の参考にさせて頂きたい。

あわせて、本日の報告・議事の中で頂きました委員の皆様方からの疑問やご意見を含めて今後の入札・契約業務に反映させて頂く。

また、さらなる透明性競争性の確保に努めて参りたい。